

# 和楽路会創立 80周年

## 100周年へ記念誌制作 座談会で理念と実践を確認

### 青梅市 貫く郷土愛 政治と向き合い有言実行

記念誌の発行を年内に予定しており先頃、記念誌に掲載する座談会が同市野上町の霞共益会館であった。小峯会長(81)らが会の理念と実践を語り合った。



冒頭、小峯会長は「これまで100年につなげていくために80周年記念誌を出したい。会の歴史と活動、使命を話し合ってもらい、今後の方向性も考えていただけたらいい」とした。

「昭和40年代後半、父はそんな状況に胡坐をかいていた。いざ客から見放されると考えた。いい酒を福生から出そうと、文政5年

に感謝でいっぱいだった。和楽路会は霞地区の交流の基盤になっていく」と振り返った。同会は政治にも高い関心を寄せ、有言実行を貫いた。第2の発足の年は夏に都議選があり、地元から市議の水村一郎さんが立候補した。

「この80年で青梅市は大きく変わった。中でも霞地区は最も人口が増加し、地域社会も変化した。その中で和楽路会の理念と実践を受け継ぎ、具現化していくことは100周年に向けて大きな課題になる」と締めくくった。

「この80年で青梅市は大きく変わった。中でも霞地区は最も人口が増加し、地域社会も変化した。その中で和楽路会の理念と実践を受け継ぎ、具現化していくことは100周年に向けて大きな課題になる」と締めくくった。

「この80年で青梅市は大きく変わった。中でも霞地区は最も人口が増加し、地域社会も変化した。その中で和楽路会の理念と実践を受け継ぎ、具現化していくことは100周年に向けて大きな課題になる」と締めくくった。

### 「まぼろしの酒」誕生秘話

青梅市東部の旧霞地域で地域活性化と会員相互の親睦に取り組む団体、和楽路会(小峯國男会長、会員数約85人)が今年で創立80年を迎える。節目を飾る

戦後、新宿や上野の闇市ではメチルアルコール入りのバクダン、酒粕から造ったカストリ焼酎が飲まれていた。だから、戦時統制を乗り切った酒蔵が甘口の酒を出すと飛ぶように売れる。この傾向は、その後も長期間続く。

「昭和40年代後半、父はそんな状況に胡坐をかいていた。いざ客から見放されると考えた。いい酒を福生から出そうと、文政5年

「昭和40年代後半、父はそんな状況に胡坐をかいていた。いざ客から見放されると考えた。いい酒を福生から出そうと、文政5年

### 田村酒造場 田村半十郎氏



田村半十郎氏は「草創の精神を連綿と受け継ぎ、会を引っ張っていただいた皆さん

「昭和40年代後半、父はそんな状況に胡坐をかいていた。いざ客から見放されると考えた。いい酒を福生から出そうと、文政5年

「昭和40年代後半、父はそんな状況に胡坐をかいていた。いざ客から見放されると考えた。いい酒を福生から出そうと、文政5年

### 行紀夏酒に

青梅市沢井の小澤酒造(小澤幹夫社長)は8月頃まで、「さわ音」を販売しています。酸味のきいた、さわやかな純米生酒。米の旨みが生酒の中に広がり、するりと流れるような味わいが特徴。料理にもよく合う酒です。720ミリで1133円(税込)。



### 先代の仕事と教え

「昭和22年8月に復員してから、しばらくは心身の疲れを癒していたらしい。九死に一生を得ただけに、祖父から任せられた家業には身を入れて取り組んだ。越後(新潟県)や南部(石手県)

「昭和22年8月に復員してから、しばらくは心身の疲れを癒していたらしい。九死に一生を得ただけに、祖父から任せられた家業には身を入れて取り組んだ。越後(新潟県)や南部(石手県)

「昭和22年8月に復員してから、しばらくは心身の疲れを癒していたらしい。九死に一生を得ただけに、祖父から任せられた家業には身を入れて取り組んだ。越後(新潟県)や南部(石手県)

「昭和22年8月に復員してから、しばらくは心身の疲れを癒していたらしい。九死に一生を得ただけに、祖父から任せられた家業には身を入れて取り組んだ。越後(新潟県)や南部(石手県)



酸味のきいた、さわやかな純米生酒

【岡村繁雄】